

歴代会長・副会長

西暦	元号	会長	副会長		
2018	平成30年	平田昌彦	澤田 均		山本嘉人
2017	平成29年	平田昌彦	澤田 均		山本嘉人
2016	平成28年	平田昌彦	澤田 均		大同久明
2015	平成27年	平田昌彦	澤田 均		大同久明
2014	平成26年	後藤正和	杉山修一	平田昌彦	大同久明
2013	平成25年	後藤正和	杉山修一	平田昌彦	大同久明
2012	平成24年	後藤正和	杉山修一		梨木 守
2011	平成23年	後藤正和	杉山修一		梨木 守
2010	平成22年	雑賀 優	後藤正和	平田昌彦	梨木 守
2009	平成21年	雑賀 優	後藤正和	平田昌彦	加茂幹男
2008	平成20年	雑賀 優	後藤正和	平田昌彦	加茂幹男
2007	平成19年	雑賀 優	後藤正和	平田昌彦	加茂幹男
2006	平成18年	菅原和夫	雑賀 優		舘野宏司
2005	平成17年	菅原和夫	雑賀 優		舘野宏司
2004	平成16年	菅原和夫	雑賀 優		清水矩宏
2003	平成15年	菅原和夫	雑賀 優		清水矩宏
2002	平成14年	塩見正衛	菅原和夫		清水矩宏
2001	平成13年	塩見正衛	菅原和夫		清水矩宏
2000	平成12年	塩見正衛	菅原和夫		小林春雄
1999	平成11年	塩見正衛	菅原和夫		小林春雄
1998	平成10年	廣田秀憲	塩見正衛		小林春雄
1997	平成9年	廣田秀憲	塩見正衛		小林春雄
1996	平成8年	廣田秀憲	塩見正衛		岡本恭二
1995	平成7年	廣田秀憲	塩見正衛		岡本恭二
1994	平成6年	大久保忠旦	伊藤 巖		鈴木慎二郎
1993	平成5年	大久保忠旦	伊藤 巖		鈴木慎二郎
1992	平成4年	大久保忠旦	伊藤 巖		鈴木慎二郎
1991	平成3年	大久保忠旦	伊藤 巖		鈴木慎二郎
1990	平成2年	佳山良正	池田 一	廣田秀憲	
1989	平成元年	佳山良正	池田 一	廣田秀憲	
1988	昭和63年	佳山良正		廣田秀憲	平島利昭
1987	昭和62年	佳山良正		廣田秀憲	平島利昭
1986	昭和61年	大泉久一	佳山良正		吉山武敏
1985	昭和60年	大泉久一	佳山良正		吉山武敏
1984	昭和59年	大泉久一	佳山良正		川鍋祐夫
1983	昭和58年	大泉久一	佳山良正		川鍋祐夫
1982	昭和57年	仁木巖雄	林 兼六		川鍋祐夫
1981	昭和56年	仁木巖雄	林 兼六		川鍋祐夫
1980	昭和55年	仁木巖雄	林 兼六	大泉久一	
1979	昭和54年	仁木巖雄	林 兼六	大泉久一	
1978	昭和53年	山田豊一	西村修一		嶋田 曉
1977	昭和52年	山田豊一	西村修一		嶋田 曉
1976	昭和51年	山田豊一	西村修一		嶋田 曉
1975	昭和50年	山田豊一	西村修一		嶋田 曉
1974	昭和49年	三井計夫	江原 薫		山田豊一
1973	昭和48年	三井計夫	江原 薫		山田豊一
1972	昭和47年	三井計夫	江原 薫		山田豊一
1971	昭和46年	三井計夫	江原 薫		山田豊一
1970	昭和45年	三井計夫	仁木巖雄		山田豊一
1969	昭和44年	三井計夫	仁木巖雄		山田豊一
1968	昭和43年	三井計夫	加唐勝三		山田豊一
1967	昭和42年	三井計夫	加唐勝三		山田豊一
1966	昭和41年	斉藤道雄	加唐勝三		三井計夫
1965	昭和40年	斉藤道雄	加唐勝三		三井計夫
1964	昭和39年	斉藤道雄	加唐勝三		三井計夫
1963	昭和38年	斉藤道雄	加唐勝三		三井計夫
1962	昭和37年	斉藤道雄	加唐勝三		三井計夫
1961	昭和36年	斉藤道雄	加唐勝三		三井計夫
1960	昭和35年	斉藤道雄	加唐勝三		三井計夫
1959	昭和34年	斉藤道雄	加唐勝三		三井計夫
1958	昭和33年	斉藤道雄	加唐勝三		三井計夫
1957	昭和32年	斉藤道雄	加唐勝三		三井計夫
1956	昭和31年	斉藤道雄	加唐勝三		三井計夫
1955	昭和30年	斉藤道雄	加唐勝三		三井計夫

創設 から	西暦	元号	年次大会・総会					
			総	大	開催地	総	大	開催地
64	2018	平成30年	64	74	くまもと県民交流館パレア			
63	2017	平成29年	63	73	弘前大学			
62	2016	平成28年	62	72	石川県立大学			
61	2015	平成27年	61	71	信州大学			
60	2014	平成26年	60	70	宮崎大学			
59	2013	平成25年	59	69	山形大学			
58	2012	平成24年	58	68	酪農学園大学			
57	2011	平成23年	57	67	宇都宮大学			
56	2010	平成22年	56	66	三重大学			
55	2009	平成21年	55	65	日本大学			
54	2008	平成20年	54	64	東北大学			
53	2007	平成19年	53	63	麻布大学			
52	2006	平成18年	52	61	技会筑波事務所	62		琉球大学
51	2005	平成17年	51	60	東京大学			
50	2004	平成16年	50	59	広島大学			
49	2003	平成15年	49	58	技会筑波事務所			
48	2002	平成14年	48	57	九州大学			
47	2001	平成13年	47	56	東京農業大学農学部(厚木キャンパ			
46	2000	平成12年	46	55	帯広畜産大学			
45	1999	平成11年	45	54	日本大学生物資源科学部			
44	1998	平成10年	44	53	岡山大学			
43	1997	平成9年	43	52	千葉大学園芸学部			
42	1996	平成8年	42	51	岐阜大学			
41	1995	平成7年	41	50	玉川大学			
40	1994	平成6年	40	49	九州東海大学			
39	1993	平成5年	39	48	技会筑波事務所			
38	1992	平成4年	38	47	北海道大学			
37	1991	平成3年	37	46	東京農業大学			
36	1990	平成2年	36	45	北里大学獣医畜産学部			
35	1989	平成元年	35	44	麻布大学獣医学部			
34	1988	昭和63年	34	43	愛媛大学農学部			
33	1987	昭和62年	33	42	千葉大学園芸学部			
32	1986	昭和61年	32	41	宮崎大学農学部			
31	1985	昭和60年	31	40	日本大学農獣医学部			
30	1984	昭和59年	30	39	京都大学農学部			
29	1983	昭和58年	29	38	筑波大学			
28	1982	昭和57年	28	37	岩手大学農学部			
27	1981	昭和56年	27	36	千葉大学理学部			
26	1980	昭和55年	26	35	名古屋大学農学部			
25	1979	昭和54年	25	34	東京農業大学			
24	1978	昭和53年	24	33	帯広畜産大学			
23	1977	昭和52年	23	32	千葉大学			
22	1976	昭和51年	22	31	東京農業大学			
21	1975	昭和50年	21	29	東京教育大学	30		島根大学
20	1974	昭和49年	20	27	東京家政大学	28		草地試験場
19	1973	昭和48年	19	25	千葉大学	26		宮崎大学
18	1972	昭和47年	18	23	東京農業大学	24		東北工業大学
17	1971	昭和46年	17	21	東京教育大学	22		名古屋大学
16	1970	昭和45年	16	19	農技研	20		新潟大学
15	1969	昭和44年	15	17	東京農業大学	18		高知市
14	1968	昭和43年	14	15	日本大学	16		札幌市
13	1967	昭和42年	13	13	東京農業大学	14		熊本市
12	1966	昭和41年	12	11	東京農業大学	12		千葉市
11	1965	昭和40年	11	9	日本大学	10		岩手大学
10	1964	昭和39年	10	8	東京教育大学			
9	1963	昭和38年	9	7	農技研			
8	1962	昭和37年	8	6	養賢堂			
7	1961	昭和36年	7	5	養賢堂			
6	1960	昭和35年	6	4	養賢堂			
5	1959	昭和34年	5	3	養賢堂			
4	1958	昭和33年	4	2	養賢堂			
3	1957	昭和32年	3	1	農林省			
2	1956	昭和31年	2		農林省			
1	1955	昭和30年	1		農技研			
	1954	昭和29年	発会式		名古屋大学			

回次	開催地	西暦	元号	月日	名称	備考
3	農林省	1956	昭和31年	4月10日	特別講演会	回数に記載は無い
2	東北大学川渡農場	1955	昭和30年	5月31日～6月2日	研究討議(第2回研究会)	第1回特別講演会の次の集まりとして第2回としたものと考えられる
1	農技研	1955	昭和30年	4月7日	第1回特別講演会	

国際草地学会議

年	元号	回	開催地	開催国	
2015	平成27年	第23回	Delhi(デリー)	India(インド)	印度
2013	平成25年	第22回	Sydney(シドニー)	Australia(オーストラリア)	濠洲
2008	平成20年	第21回	呼和浩特(フフホト)	China(中国)	中国
2005	平成17年	第20回	Dublin(ダブリン)	Ireland(アイルランド)	愛蘭土
2001	平成13年	第19回	São Pedro(サンペドロ)	Brasil(ブラジル)	伯刺西爾
1997	平成9年	第18回	Winnipeg(ウィニペグ) Saskatchewan(サスカチュアン)	Canada(カナダ)	加奈陀
1993	平成5年	第17回	Palmerston North(パーマストン・ノース) Rockhampton(ロックハンプトン)	New Zealand(ニュージーランド) Australia(オーストラリア)	新西蘭 濠洲
1989	平成元年	第16回	Nice(ニース)	France(フランス)	仏蘭西
1985	昭和60年	第15回	Kyoto(京都)	Japan(日本)	日本
1981	昭和56年	第14回	Lexington, Kentucky(ケンタッキー州レキシントン)	USA(アメリカ)	米国
1977	昭和52年	第13回	Leipzig(ライプツィヒ)	GDR(東ドイツ)	東独
1974	昭和49年	第12回	Москва(モスクワ)	USSR(ソビエト連邦)	蘇連
1970	昭和45年	第11回	Surfers Paradise, Queensland(クィーンズランド州 サーファーズパラダイス)	Australia(オーストラリア)	濠洲
1966	昭和41年	第10回	Helsinki(ヘルシンキ)	Finland(フィンランド)	芬蘭
1965	昭和40年	第9回	São Paulo(サンパウロ)	Brasil(ブラジル)	伯刺西爾
1960	昭和35年	第8回	Reading, Berkshire(バークシャー州レディング)	UK(英国)	英国
1956	昭和31年	第7回	Palmerston North(パーマストン・ノース)	New Zealand(ニュージーランド)	新西蘭
1952	昭和27年	第6回	State College, Pennsylvania(ペンシルベニア州ス テート・カレッジ)	USA(アメリカ)	米国
1949	昭和24年	第5回	Noordwijk(ノールドワイク)	Netherlands(オランダ)	和蘭
1937	昭和12年	第4回	Aberystwyth(アベリストウィス)	UK(英国)	英国
1933	昭和8年	第3回	不明	Switzerland(スイス)	瑞西
1930	昭和5年	第2回	不明	Sweden(スウェーデン) Denmark(デンマーク)	瑞典 丁抹
1927	昭和2年	第1回	不明	Germany(ドイツ)	独逸

日中韓草地学会議

西暦	元号	回	開催地	開催国
2018	平成30年	第7回	札幌	日本
2016	平成28年	第6回	済州島済州市	韓国
2014	平成26年	第5回	長春	中国
2012	平成24年	第4回	名古屋	日本
2009	平成21年	第3回	ソウル	韓国
2006	平成18年	第2回	蘭州	中国
2004	平成16年	第1回	広島	日本

名誉会員

No.	年	氏名
21	平成30年度	後藤正和
20	平成29年度	清水矩宏
19	平成26年度	雑賀 優
18	平成22年度	菅原和夫
17	平成20年度	塩見正衛
16	平成17年度	高野信雄
15	平成16年度	廣田秀憲
14	平成9年度	大久保忠旦
13	平成7年度	佳山良正
12	平成5年度	大泉久一
11	平成2年度	佐々木泰斗
10	昭和63年度	大原久友
9	昭和62年度	江原 薫
8	昭和61年度	仁木巖雄
7	昭和61年度	川瀬 勇
6	昭和54年度	山田豊一
5	昭和50年度	三井計夫
4	昭和49年度	E.M. HUTTON
3	昭和44年度	加唐勝三
2	昭和42年度	齊藤道雄
1	昭和38年度	R.WHITE

大会企画等

年度	開催種別	タイトル	企画者
2018	公開シンポジウム	熊本地震からの復興に向けてー畜産現場での減災を考えるー	岡本智伸
	企画シンポジウム	植物遺伝資源利用における課題と今後の展開	蝦名真澄
	企画集会	周年親子放牧による高収益繁殖経営を目指して ー②周年親子放牧実践農家の取り組みと今後の地域展開方向ー	山本嘉人
	小集会	飼料作物育種における種子増殖の現状と課題 ④暖地型牧草における採種状況の現状および課題と国内における採種技術と育種改良 教えて先輩！～産学官の就職・仕事・研究の苦労話～	上山泰史・蝦名真澄・前原泰徳・川口優 吉原 佑
2017	企画シンポジウム	多様な植生を活用した放牧家畜生産の展望と課題 草地・飼料作における獣害の実態と被害対策への展望 北の大地の低投入酪農の可能性とその効果 草地生態系とそのモデル研究 植生をめぐる微生物の生態学	小倉振一郎・八代田真人・川村健介 塚田英晴 小路 敦 塩見正衛 菅原幸哉
	企画集会	周年親子放牧による高収益繁殖経営を目指して	山本嘉人
	小集会	飼料作物育種における種子増殖の現状と課題③マメ科牧草における国内外での採種状況の現状および課題と国内における採種技術と育種改良 教えて先輩！～研究・就職の苦労話(ウラ話)～	奥村健治・川口 優・清 多佳子 吉原 佑
	2016	企画シンポジウム	飼料用イネに関する研究開発動向と今後の展望 北陸地域における自給飼料生産・利用の現状と課題 北海道における近年の雑草侵入と草種構成悪化の現状 草地学教育の現状と課題
2015	企画集会	公共牧場の活性化に向けてー⑤北陸地域における公共牧場の現状と課題	井出保行
	小集会	モンゴル高原での野外植物種数操作実験と生態系機能 飼料作物育種における種子増殖の現状と課題②オーチャードグラスおよび多年生ライグラスにおける国内育成品種の海外増殖の課題およびその国内での採種性に関する特性 学位論文お披露目会 ～次世代を担う若手研究者達～ 若手Rナイトフォーバー 1. ビッグデータの処理と植生データ解析	吉原 佑 雑賀 優・川口 優・上山泰史・清 多佳子 川村健介・平野 清 川村健介・平野 清 森 昭憲・吉原 佑
	企画集会	公共牧場の活性化に向けてー④本州中部地域の公共牧場の現状と課題	井出保行
	小集会	飼料作物育種における種子増殖の現状と課題 ①寒地型牧草における国内育成品種の採種性と海外増殖の現状 放射性セシウム汚染の現状と低減化に向けた取り組み 若手R統計企画:一般化線形回帰	雑賀 優・高山光男・川口 優・上山泰史・清 多佳子 築城幹典・榎村恭子 川村健介・平野 清
2014	60周年記念シンポジウム	我が国の持続社会の構築に果たす草地畜産の役割と展望	日本草地学会
	特別企画シンポジウム	チベット・トランスヒマラヤ高山草原における放牧システムと生態系保全	長谷川信美
	企画シンポジウム	「グローバル畜産確立に向けての優位技術の創成」ー宮崎県における畜産新生への取組 飼料作物のフザリウム系かびの発生とその対策 飼料自給率向上のための国産飼料の流通に関する現状と課題	石井康之・明石 良 月星隆雄 浦川修司
	企画集会	公共牧場の活性化に向けてー③九州地域の公共牧場の現状と課題ー	井出保行
2013	小集会	日本において永年草地による草地酪農の確立は可能か？ ー45年無更新草地に立脚した営農実践と暮らしの事例からー 放射性セシウム汚染の現状と低減化に向けた取り組み	佐々木章晴・三友盛行・小路 敦・瀬尾哲也・藤本秀明・新畑由香 築城幹典・榎村恭子
	企画シンポジウム	地域飼料資源の有効利用 草地学における行動研究の発展性 草地・耕地生態系の圏根の生理生態と利用	
	企画集会	公共牧場の活性化に向けてー②東北地域の公共牧場の現状と課題ー	
	小集会	Wiley 社による電子ジャーナル機能説明 ー便利な機能を御存じですかー 草地土壌研究の最前線ー生産から環境までー 草地飼料畑における放射性セシウム汚染の実態と低減化を考える スキキ類の多様性と利用 日本人の英語はどことが問題か？ 英文校閲者からのアドバイス	
2012	公開シンポジウム	緑地・草地・草原ー私たちの生活とつながる線ー	
	企画シンポジウム	草地飼料作における放射能汚染の現状と今後の課題 ゲノム情報を活用した生物の多様性評価と形質発現 草地生態系のオーバーユースとアンダーユース	
	企画集会	公共牧場の活性化に向けてー①北海道地域の公共牧場の現状と課題ー	
	小集会	論文の執筆と審査のポイント シカによる草地被害の実態と捕獲シカの活用策 北海道草地畜産草創期における草地研究	
2011	自由シンポジウム	トウモロコシの不耕起播種 草地畜産からシカ問題を考えるー被害から利活用へ ゲノム情報を活用した牧草の品質向上のための育種戦略	
	小集会	若手の会(論文の執筆と審査のポイント)	
2010	公開シンポジウム	草地の恵みと地域再生	
	自由シンポジウム	生物多様性と半自然草地ー成立と維持に向けた戦略ー 我が国の水田裏作における飼料生産の展望 草地の生態系サービス 内蒙古砂漠化/退行草原の研究ー草、土、家畜の研究の融合ー 草地学は海外でどのように利用されているか	
2009	合同公開シンポジウム	新MIDORI革命ー夢エネルギーを追うー	
	自由シンポジウム	自給飼料研究と経営展望 アジアの草原研究 エンドファイト研究の潮流 ソルガム育種の将来像	
	小集会	若手研究者セミナー シルバー放談会	
2008	公開シンポジウム	草地科学の最先端	
	小集会	若手研究者セミナー フラキアリア属の生理活性 草地の生態学 バイオ燃料向け植物 草地研究と環境問題 シルバー放談会	
2007	公開シンポジウム	食料・環境問題に対する畜産・草地研究の貢献	
	小集会	草地の生態学15:外来生物法で要注意になった牧草類 「ネオティオファティウム・エンドファイト」植物共生菌としての隠された生態と草地生態系、牧草・家畜生産への影響	
2006(2)	公開シンポジウム	暖地型牧草による自給飼料生産生産盤の特性	
2006(1)	公開シンポジウム	草地と野生動物のかかわり	
2005	合同シンポジウム	飼料の安全・安心をどのようにかち獲るか？	
	小集会	草地の生態学14:種子発芽と埋土種子研究の重要性	
2004	50周年記念日中韓シンポジウム	東アジアにおける草地農業と食糧生産	
	小集会	乾燥・半乾燥草原研究の情報と連携 糖含量の改良による高度耐寒性、高品質なイネ科牧草品種の開発 草地の生態学13:三瓶牧野における保全生態学的取り組みー新たな資源管理ルールの確立に向けてー	

優秀若手表彰

西暦	元号	氏名	所属	演題
2018	平成30年	草竹理子	宮崎大学大学院	ウシにおける植生識別能力の評価:緑草の有無の識別に対する異なる感覚の寄与
2017	平成29年	二階莉紗	東北大学大学院	ウェアラブルカメラを用いた放牧牛の摂食行動モニタリング:多様な植生下での摂食植物種の推定
2016	平成28年	陳 綱汶	北海道大学大学院	Basic study on characteristics of perennial invasive weeds to establish a management for weed control in grassland
2015	平成27年	高見澤真太	東北大学	広葉草本および木本の存在が放牧家畜の養分摂取に及ぼす影響
2014	平成26年	範 心硯	広島大学大学院	Developing a simple visible and near-infrared (V-NIR) Camera system for monitoring aboveground biomass in an Italian ryegrass field
2013	平成25年	中野敬護	弘前大学	温暖化ストレスに対するオーチャードグラスの集団分化
2012	平成24年	足利和紀	(地独)道総研北見農試	チモシーにおける異なる熟期の栄養系間交配の変異



国際学会参加支援

派遣期	派遣会員	所属	派遣先	派遣国(開催地)	派遣期間
2018年度上半期	宋 維茹	宮崎大学	第7回日中韓草地学会議	日本(札幌)	2018年7月8～10日
	樽見恵梨奈	岩手大学	第7回日中韓草地学会議	日本(札幌)	2018年7月8～10日
	中嶋紀覚	岐阜大学	第7回日中韓草地学会議	日本(札幌)	2018年7月8～10日
	安在弘樹	宮崎大学	第7回日中韓草地学会議	日本(札幌)	2018年7月8～10日
2017年度下半期	なし				
2017年度上半期	なし				
2016年度下半期	なし				
2016年度上半期	なし				
2015年度下半期	浅野桂吾	石川県立大学	第23回国際草地学会議	インド(デリー)	2015年11月20～24日
2015年度上半期	なし				
2014年度下半期	今井裕理子	琉球大学	The 16th AAAP Congress	インドネシア(ジョグジャカルタ)	2014年11月10～14日
2014年度上半期	浅野桂吾	石川県立大学	第5回日中韓草地学会議	中華人民共和国(長春市)	2014年8月20～24日
	土井和也	岐阜大学	第5回日中韓草地学会議	中華人民共和国(長春市)	2014年8月20～24日